

第6回要介護認定調査検討会

－ 議 事 次 第 －

日時：平成20年11月25日（火）14：00～16：00

場所：東海大学校友会館 望星の間

議題

1. 要介護認定モデル事業（第2次）の結果報告について
2. その他

第6回 要介護認定調査検討会

資料一覧

- 資料1 要介護認定一次判定ロジック見直しの主な経緯
- 資料2 モデル事業データ分析結果
- 資料3 要介護認定一次判定ロジック(樹形図)変更の流れ

要介護認定一次判定ロジック見直しの主な経緯

第6回要介護認定調査検討会

資料1

H20.11.25

○現行の要介護認定一次判定ロジックに関する課題

課題1 現行のものは平成13年のデータを使用

・対応方針:最新のデータに基づく一次判定ロジックの構築

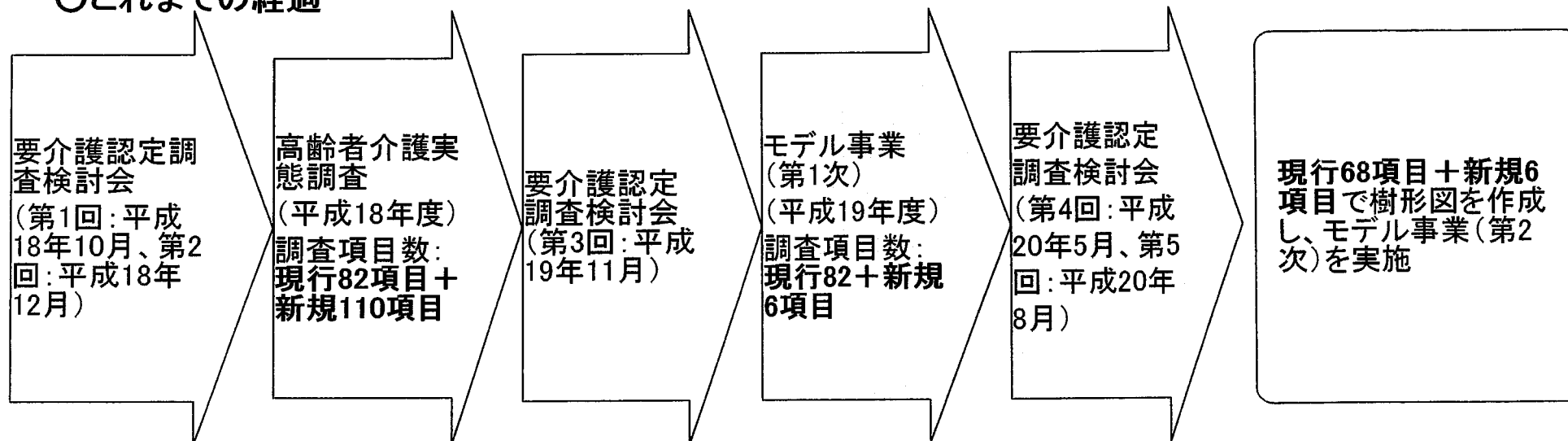
課題2 現行は一次判定で「要介護1相当」と判定した上で、介護認定審査会の場で、「認知の具合」「状態の安定性」を基に判定されているが、これは煩雑な上に運用上のバラツキがある

・対応方針:コンピュータ判定による要支援2と要介護1の判別

課題3 調査項目が多く煩雑

・対応方針:認定調査の負担軽減の観点から精度が落ちないことを前提に調査項目の見直しを行う

○これまでの経過



要介護認定モデル事業(第二次)について

- 全市町村で実施
- 従来の認定と新判定ソフトを用いた新しい認定を併用

モデル事業(第二次)対象者数

各市町村等のモデル事業の対象者数は人口規模に応じて、下記の通り設定した。

- 1万人未満.....5人
- 1万人以上5万人未満.....10人
- 5万人以上10万人未満.....15人
- 10万人以上30万人未満.....40人
- 30万人以上50万人未満.....75人
- 50万人以上100万人未満.....150人
- 100万人以上.....300人

審査会資料の変更点

- ① 認定調査項目の見直し(82項目→74項目)
- ② 認定調査項目の群分けの再編(7群→5群)
- ③ 要介護認定等基準時間の帯グラフ表示の導入
- ④ 認知症高齢者自立度Ⅱ以上の蓋然性(%)の表示
- ⑤ 状態の安定性の推計結果の表示
- ⑥ 中間評価項目得点表の見直し
- ⑦ 日常生活自立度の組み合わせの削除
- ⑧ 要介護度変更の指標の削除

現行の審査会資料(見本)

取扱注意

介護認定審査会資料

平成20年11月20日 作成
平成19年 8月20日 申請
平成19年 8月27日 調査
平成20年11月20日 審査

合議体番号：000077 No. 1

被保険者区分：第1号被保険者 年齢：84歳 性別：女
申請区分：新規申請 前区要介護度：なし

現在の状況：自宅（施設利用なし）
前回認定有効期間：月間

1 一次判定等

(この分数は、実際のケア時間を示すものではない)

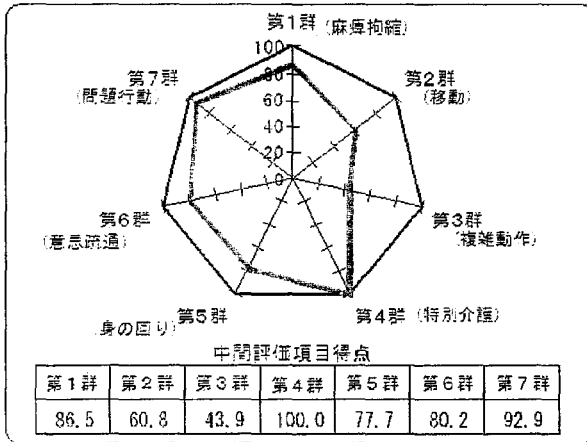
一次判定結果：要介護1相当

要介護認定等基準時間：33.9分

食事	排注	移動	清潔保持	着脱	問題行動	機能訓練	医療関連
0.7分	0.5分	1.0分	8.6分	7.3分	4.3分	2.4分	9.1分

警告コード：

3 中間評価項目得点表



4 日常生活自立度の組み合わせ

障害高齢者自立度：A1 認知症高齢者自立度：I

自立	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
0%	10%	60%	20%	10%	0%	0%

5 認知機能・要介護の程度の評価結果

認知症高齢者の日常生活自立度

認定調査結果 [I] 主治医意見書 [II a]

「認知症高齢者の日常生活自立度」の蓋然性評価

A	B	C	D
			○

※「認知症高齢者の日常生活自立度」が「自立～I」の蓋然性が
A: 75%以上 B: 50%以上75%未満
C: 25%以上50%未満 D: 25%未満

認定調査結果(要介護の程度に関する調査項目)

歩行	つかまれば可
移動	自立
日中の生活	空まっていることが多い
外出頻度	週1回以上
環境・参加の状況等の変化	ない

認知機能・要介護の程度から推定される給付区分

予防給付相当 介護給付相当

6 現在のサービス利用状況(なし)

2 認定調査項目

調査結果	○	●	審査結果
第1群 (麻痺拘縮) 2 歩行 3 移動 4 歩行 5 歩行 6 歩行 7 歩行			ある
第2群 (移動) 2 立ち上がり 3 座位保持 4 両足での立位 5 歩行 6 移動 7 歩行			つかまれば可 つかまれば可 自分で支えれば可 つかまれば可
第3群 (複雑動作) 2 立ち上がり 3 両足での立位 4 洗面 5 身			つかまれば可 支えが必要
第4群 (特別介護) 2 反響 3 食事摂取 4 飲水 5 排泄 6 排泄			
第5群 (身の回り) 2 7口脱着 3 洗面 4 髪 5 髪 6 髪 7 髪		○	一部介助 一部介助 一部介助
第6群 (意思疎通) 2 視力 3 聴力 4 指示への反応 5 毎日の日課を理解 6 毎日の日課をいう 7 短期記憶 8 自分の名前をいう 9 今の場所を理解			特別な場合以外可 やっと聞える ときどき通じる
第7群 (問題行動) 2 被害的 3 幻視 4 幻聴 5 感情が不安定 6 暴言暴行 7 暴言暴行 8 同じ話を繰り返す 9 大声を出す 10 介護に反抗 11 罵詈雑言 12 落ち着きなし 13 外出して戻れない 14 一人で出たがる 15 取崩し 16 火の不始末 17 物や衣類を壊す 18 不潔行動 19 異食行動 20 ひどい物忘れ			ときどきある ときどきある ある

特別な医療

点滴の管理	気管切開の処置
心臓薬投与	疼痛の看護
透析	経管栄養
ストーマの処置	モニター測定
酸素療法	じよくそうの処置
レスピレーター	カテーテル

H20. 11. 25

《モデル事業データ分析結果》

年齢階級別集計

年齢階級	報告件数	構成比率	性別		
			男性	女性	性別不明
～65	929	3.01%	510	419	0
65～69	1,629	5.29%	804	825	0
70～74	3,171	10.29%	1,346	1,825	0
75～79	5,971	19.38%	2,132	3,839	0
80～84	7,992	25.93%	2,459	5,533	0
85～89	6,634	21.53%	1,644	4,990	0
90～94	3,407	11.06%	819	2,588	0
95～99	968	3.14%	203	765	0
100～	116	0.38%	16	100	0
合計	30,817	100%	9,933	20,884	0
構成比率			32.23%	67.77%	0.00%

報告市町村等数:1626

年齢階級	モデル事業による一次判定結果								
	非該当	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他
～65	24	144	155	181	155	102	91	77	0
65～69	58	345	299	323	228	144	146	86	0
70～74	86	772	609	628	393	246	275	162	0
75～79	167	1,716	1,043	1,284	662	419	430	250	0
80～84	225	2,235	1,348	1,807	874	619	612	272	0
85～89	154	1,524	1,005	1,707	815	588	545	296	0
90～94	55	520	410	851	475	417	432	247	0
95～99	3	86	62	197	162	156	201	101	0
100～	0	1	4	15	18	37	19	22	0
合計	772	7,343	4,935	6,993	3,782	2,728	2,751	1,513	0
構成比率	2.51%	23.83%	16.01%	22.69%	12.27%	8.85%	8.93%	4.91%	0.00%

年齢階級	モデル事業による二次判定結果								
	非該当	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他
～65	16	118	170	174	162	121	84	82	2
65～69	36	321	291	333	254	167	133	94	0
70～74	80	700	585	609	479	307	236	171	4
75～79	117	1,588	1,091	1,224	757	532	354	295	13
80～84	154	2,050	1,456	1,688	1,038	762	517	322	5
85～89	82	1,391	1,140	1,504	970	687	516	339	5
90～94	23	455	470	748	552	454	402	302	1
95～99	0	60	93	167	166	176	180	125	1
100～	0	3	2	14	19	35	20	23	0
合計	508	6,686	5,298	6,461	4,397	3,241	2,442	1,753	31
構成比率	1.65%	21.70%	17.19%	20.97%	14.27%	10.52%	7.92%	5.69%	0.10%

《モデル事業データ分析結果》

① 現行の審査判定による重軽度変更率（全国、都道府県別）

都道府県	二次判定結果 - 一次判定結果			データ件数			
	軽度変更	変更なし	重度変更	軽度変更 件数	変更なし 件数	重度変更 件数	対象件数
北海道	9.9%	64.7%	25.4%	149	975	383	1,507
青森県	11.6%	71.5%	16.9%	48	296	70	414
岩手県	5.2%	70.9%	23.8%	18	244	82	344
宮城県	4.3%	64.0%	31.7%	22	329	163	514
秋田県	5.4%	67.9%	26.6%	17	212	83	312
山形県	6.9%	69.1%	24.0%	24	242	84	350
福島県	5.6%	70.6%	23.8%	39	490	165	694
茨城県	7.4%	70.6%	21.9%	55	522	162	739
栃木県	6.6%	70.1%	23.3%	35	373	124	532
群馬県	7.0%	69.6%	23.3%	41	406	136	583
埼玉県	6.9%	68.0%	25.1%	95	942	348	1,385
千葉県	6.0%	72.9%	21.1%	72	870	252	1,194
東京都	5.2%	68.8%	26.0%	132	1,759	664	2,555
神奈川県	7.4%	70.0%	22.6%	132	1,248	404	1,784
新潟県	8.8%	68.6%	22.6%	50	389	128	567
富山県	8.1%	69.7%	22.1%	22	189	60	271
石川県	8.9%	74.3%	16.8%	27	226	51	304
福井県	3.0%	83.0%	14.0%	8	220	37	265
山梨県	5.4%	78.8%	15.8%	10	145	29	184
長野県	6.0%	71.1%	23.0%	38	452	146	636
岐阜県	9.7%	67.6%	22.7%	57	396	133	586
静岡県	5.4%	73.6%	21.0%	46	631	180	857
愛知県	7.8%	70.8%	21.4%	127	1,154	349	1,630
三重県	5.7%	71.0%	23.3%	34	423	139	596
滋賀県	7.8%	68.9%	23.2%	32	282	95	409
京都府	7.9%	70.5%	21.6%	29	258	79	366
大阪府	5.4%	79.0%	15.6%	130	1,906	377	2,413
兵庫県	11.0%	68.1%	20.9%	146	902	277	1,325
奈良県	7.3%	80.8%	11.9%	27	298	44	369
和歌山県	11.6%	63.1%	25.3%	28	152	61	241
鳥取県	13.3%	56.3%	30.4%	18	76	41	135
島根県	6.7%	70.0%	23.3%	15	156	52	223
岡山県	6.9%	74.2%	18.9%	31	334	85	450
広島県	17.1%	67.9%	15.0%	133	530	117	780
山口県	11.1%	61.3%	27.6%	46	253	114	413
徳島県	11.2%	70.7%	18.1%	24	152	39	215
香川県	8.6%	71.0%	20.4%	16	132	38	186
愛媛県	10.8%	56.3%	32.9%	46	240	140	426
高知県	7.0%	71.6%	21.4%	18	184	55	257
福岡県	5.4%	74.1%	20.4%	54	740	204	998
佐賀県	7.4%	68.6%	24.0%	17	157	55	229
長崎県	7.1%	67.2%	25.7%	21	199	76	296
熊本県	5.9%	68.8%	25.3%	30	348	128	506
大分県	6.9%	80.1%	13.0%	37	432	70	539
宮崎県	12.5%	65.8%	21.7%	39	206	68	313
鹿児島県	9.4%	69.2%	21.4%	51	375	116	542
沖縄県	3.4%	80.4%	16.2%	12	283	57	352
全国平均	7.8%	70.2%	22.0%	2,298	21,728	6,760	30,786
標準偏差	2.7	5.4	4.4				

② モデル事業の審査判定による重軽度変更率（全国、都道府県別）

都道府県	二次判定結果 - 一次判定結果			データ件数			対象件数
	軽度変更	変更なし	重度変更	変更件数(軽度)	変更なし	変更件数(重度)	
北海道	5.6%	78.3%	16.0%	85	1,181	242	1,508
青森県	7.7%	81.9%	10.4%	32	339	43	414
岩手県	2.6%	77.6%	19.8%	9	267	68	344
宮城県	0.8%	82.7%	16.5%	4	425	85	514
秋田県	5.1%	79.8%	15.1%	16	249	47	312
山形県	2.9%	80.0%	17.1%	10	280	60	350
福島県	4.6%	82.7%	12.7%	32	574	88	694
茨城県	3.0%	83.4%	13.6%	22	617	101	740
栃木県	4.3%	81.0%	14.7%	23	431	78	532
群馬県	3.8%	81.8%	14.4%	22	478	84	584
埼玉県	5.1%	79.6%	15.3%	70	1,103	212	1,385
千葉県	2.5%	83.6%	13.9%	30	998	166	1,194
東京都	3.1%	79.1%	17.8%	80	2,022	455	2,557
神奈川県	4.1%	81.3%	14.6%	74	1,451	260	1,785
新潟県	6.0%	80.8%	13.2%	34	458	75	567
富山県	3.0%	75.3%	21.8%	8	204	59	271
石川県	5.9%	82.9%	11.2%	18	252	34	304
福井県	1.9%	84.5%	13.6%	5	224	36	265
山梨県	2.7%	87.5%	9.8%	5	161	18	184
長野県	4.1%	80.5%	15.4%	26	512	98	636
岐阜県	5.6%	84.1%	10.2%	33	493	60	586
静岡県	5.7%	83.4%	10.9%	49	716	94	859
愛知県	5.2%	81.8%	13.0%	84	1,334	212	1,630
三重県	2.7%	83.1%	14.3%	16	495	85	596
滋賀県	6.3%	80.3%	13.4%	26	330	55	411
京都府	4.9%	84.4%	10.7%	18	309	39	366
大阪府	3.2%	84.5%	12.3%	78	2,030	295	2,403
兵庫県	8.3%	81.4%	10.3%	110	1,079	136	1,325
奈良県	7.8%	85.1%	7.0%	29	315	26	370
和歌山県	6.2%	80.5%	13.3%	15	194	32	241
鳥取県	10.4%	77.0%	12.6%	14	104	17	135
島根県	2.2%	83.4%	14.3%	5	186	32	223
岡山県	2.4%	89.1%	8.4%	11	401	38	450
広島県	7.1%	81.4%	11.5%	55	635	90	780
山口県	3.6%	80.4%	16.0%	15	332	66	413
徳島県	3.7%	86.5%	9.8%	8	186	21	215
香川県	3.8%	83.3%	12.9%	7	155	24	186
愛媛県	5.2%	80.3%	14.6%	22	342	62	426
高知県	7.4%	82.5%	10.1%	19	212	26	257
福岡県	8.0%	80.8%	11.2%	80	809	112	1,001
佐賀県	8.4%	79.6%	12.0%	19	179	27	225
長崎県	6.8%	79.4%	13.9%	20	235	41	296
熊本県	3.2%	81.2%	15.6%	16	411	79	506
大分県	5.6%	84.9%	9.5%	30	457	51	538
宮崎県	11.2%	73.5%	15.3%	35	230	48	313
鹿児島県	7.0%	76.8%	16.2%	38	417	88	543
沖縄県	4.0%	87.2%	8.8%	14	307	31	352
全国平均	5.0%	81.7%	13.3%	1,471	25,119	4,196	30,786
標準偏差	2.2	3.0	2.9				

《モデル事業データ分析結果》

現行とモデル事業の二次判定結果の要支援2／要介護1の比率の比較

① 現行の二次判定結果の要支援2／要介護1の比率比較（都道府県別）

都道府県	現行の二次判定結果			
	要支援2		要介護1	
	件数	比率	件数	比率
北海道	349	53.5%	303	46.5%
青森県	55	42.6%	74	57.4%
岩手県	42	32.8%	86	67.2%
宮城県	83	44.1%	105	55.9%
秋田県	58	41.7%	81	58.3%
山形県	71	46.4%	82	53.6%
福島県	165	56.3%	128	43.7%
茨城県	120	42.1%	165	57.9%
栃木県	102	52.0%	94	48.0%
群馬県	135	51.9%	125	48.1%
埼玉県	232	43.0%	307	57.0%
千葉県	283	54.2%	239	45.8%
東京都	511	49.0%	532	51.0%
神奈川県	406	56.0%	319	44.0%
新潟県	111	50.2%	110	49.8%
富山県	37	40.2%	55	59.8%
石川県	82	59.4%	56	40.6%
福井県	49	51.0%	47	49.0%
山梨県	25	39.7%	38	60.3%
長野県	100	42.4%	136	57.6%
岐阜県	105	52.2%	96	47.8%
静岡県	149	44.9%	183	55.1%
愛知県	350	54.0%	298	46.0%
三重県	140	58.3%	100	41.7%
滋賀県	92	50.8%	89	49.2%
京都府	69	50.4%	68	49.6%
大阪府	599	61.0%	383	39.0%
兵庫県	244	51.4%	231	48.6%
奈良県	92	69.2%	41	30.8%
和歌山県	59	59.6%	40	40.4%
鳥取県	27	47.4%	30	52.6%
島根県	48	51.1%	46	48.9%
岡山県	110	57.6%	81	42.4%
広島県	170	52.0%	157	48.0%
山口県	79	48.8%	83	51.2%
徳島県	48	54.5%	40	45.5%
香川県	27	47.4%	30	52.6%
愛媛県	88	46.3%	102	53.7%
高知県	37	45.1%	45	54.9%
福岡県	229	53.5%	199	46.5%
佐賀県	34	41.5%	48	58.5%
長崎県	54	41.9%	75	58.1%
熊本県	100	53.5%	87	46.5%
大分県	131	56.0%	103	44.0%
宮崎県	75	52.4%	68	47.6%
鹿児島県	90	43.1%	119	56.9%
沖縄県	70	52.2%	64	47.8%
合計	6,332		5,988	
全国平均		51.4%		48.6%
標準偏差		6.7		6.7

《モデル事業データ分析結果》

現行とモデル事業の二次判定結果の要支援2／要介護1の比率の比較

② モデル事業の二次判定結果の要支援2／要介護1の比率比較（都道府県別）

都道府県	モデル事業の二次判定結果			
	要支援2		要介護1	
	件数	比率	件数	比率
北海道	272	44.4%	341	55.6%
青森県	58	36.7%	100	63.3%
岩手県	48	40.3%	71	59.7%
宮城県	66	32.4%	138	67.6%
秋田県	41	32.0%	87	68.0%
山形県	47	34.1%	91	65.9%
福島県	124	45.8%	147	54.2%
茨城県	106	36.6%	184	63.4%
栃木県	105	51.0%	101	49.0%
群馬県	94	41.0%	135	59.0%
埼玉県	217	42.0%	300	58.0%
千葉県	214	43.6%	277	56.4%
東京都	447	45.5%	535	54.5%
神奈川県	312	46.8%	355	53.2%
新潟県	96	43.4%	125	56.6%
富山県	30	34.9%	56	65.1%
石川県	52	44.1%	66	55.9%
福井県	45	45.9%	53	54.1%
山梨県	17	25.8%	49	74.2%
長野県	98	41.5%	138	58.5%
岐阜県	92	46.9%	104	53.1%
静岡県	126	40.4%	186	59.6%
愛知県	266	44.6%	331	55.4%
三重県	108	48.2%	116	51.8%
滋賀県	77	47.5%	85	52.5%
京都府	58	43.0%	77	57.0%
大阪府	484	56.2%	377	43.8%
兵庫県	231	49.1%	239	50.9%
奈良県	76	58.9%	53	41.1%
和歌山県	57	58.2%	41	41.8%
鳥取県	19	33.3%	38	66.7%
島根県	45	47.9%	49	52.1%
岡山県	82	47.4%	91	52.6%
広島県	153	47.5%	169	52.5%
山口県	62	43.1%	82	56.9%
徳島県	45	51.1%	43	48.9%
香川県	26	44.8%	32	55.2%
愛媛県	73	40.1%	109	59.9%
高知県	36	38.7%	57	61.3%
福岡県	183	43.3%	240	56.7%
佐賀県	34	42.5%	46	57.5%
長崎県	59	47.6%	65	52.4%
熊本県	98	48.8%	103	51.2%
大分県	119	50.6%	116	49.4%
宮崎県	65	45.5%	78	54.5%
鹿児島県	82	39.6%	125	60.4%
沖縄県	53	46.9%	60	53.1%
合計	5,298		6,461	
全国平均		45.1%		54.9%
標準偏差		6.5		6.5

現行制度とモデル事業の一次判定による判定結果の比較

現行制度とモデル事業の一次判定による各要介護(要支援)状態区分の出現状況

	非該当	要支援1	要介護1相当 (要支援2および 要介護1)	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
現行制度	4.8%	21.8%	39.3%	12.1%	9.2%	6.8%	6.1%
モデル事業	2.5%	23.8%	38.7%	12.3%	8.9%	8.9%	4.9%

現行制度とモデル事業の一次判定による各要介護(要支援)状態区分の一致率等

	件数	比率
一致	17,764	57.6%
一次判定(現行)→一次判定(モデル事業) 軽度の判定	6,088	19.8%
一次判定(現行)→一次判定(モデル事業) 重度の判定	6,965	22.6%
計	30,817	100.0%

現行制度とモデル事業の二次判定による判定結果の比較

現行制度とモデル事業の二次判定による各要介護(要支援)状態区分の出現状況

	非該当	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
現行制度	1.5%	19.4%	20.6%	19.5%	14.4%	11.5%	7.3%	6.0%
モデル事業	1.7%	21.7%	17.2%	21.0%	14.3%	10.5%	7.9%	5.7%

現行制度とモデル事業の二次判定による各要介護(要支援)状態区分の一致率等

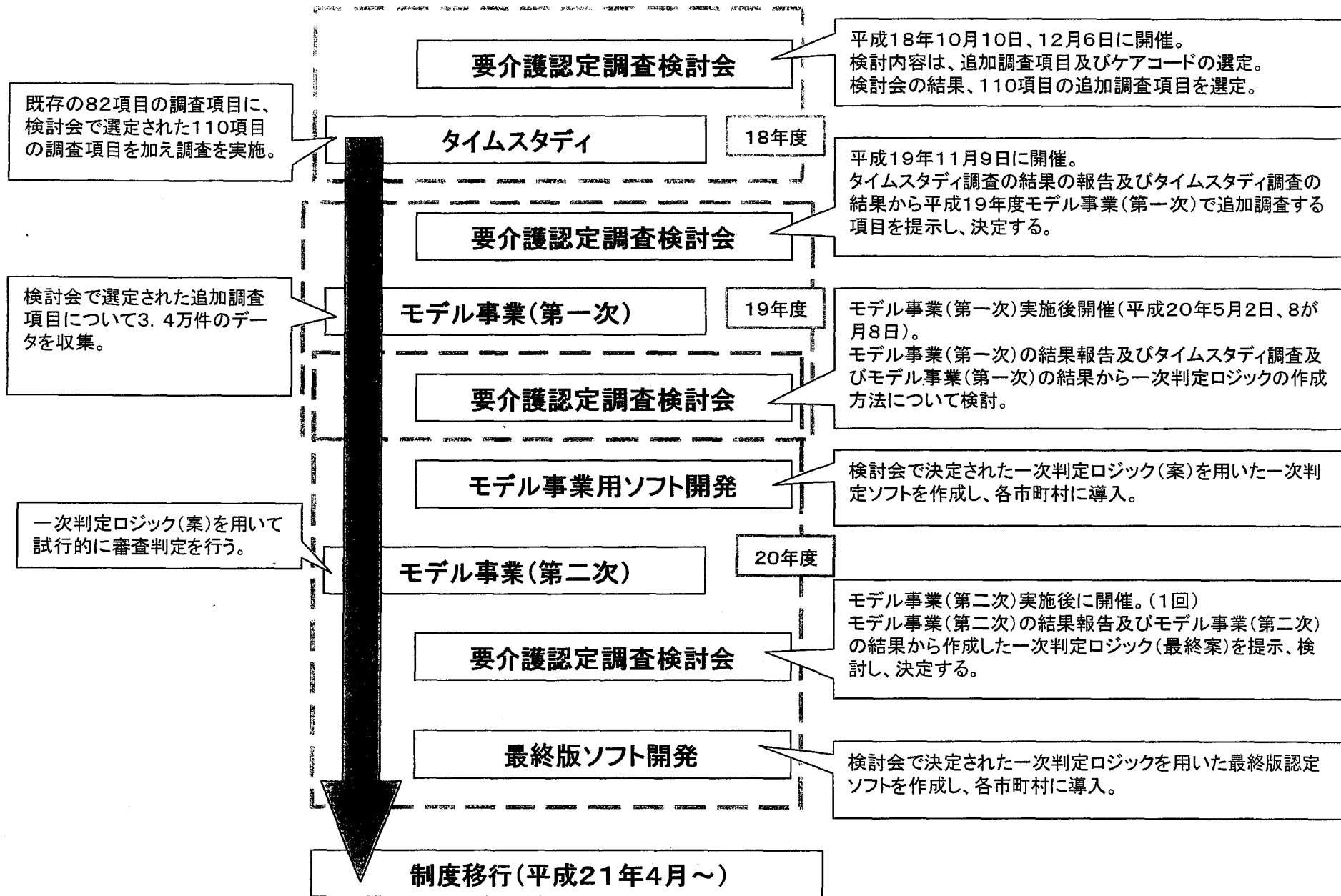
	件数	比率
一致	19,442	63.2%
二次判定(現行)→二次判定(モデル事業) 軽度の判定	6,189	20.1%
二次判定(現行)→二次判定(モデル事業) 重度の判定	5,139	16.7%
計	30,770	100.0%

要介護認定モデル事業(第二次)の結果の概要

- ・ 二次判定による重度変更、軽度変更ともに全国での平準化が図られた。
- ・ 要支援2、要介護1の全国での出現比率のバラツキは若干の改善が見られた。
- ・ 現行及びモデル事業の一次判定において判定が一致した割合は57.6%、モデル事業の方が現行の判定より重度に判定される割合は22.6%、軽度に判定される割合は19.8%であった。
- ・ 現行及びモデル事業の二次判定において判定が一致した割合は63.2%、モデル事業の方が現行の判定より重度に判定される割合は16.7%、軽度に判定される割合は20.1%であった。
- ・ 全国における各要介護(要支援)状態区分の出現割合については、一次判定、二次判定ともにほぼ現行の審査判定と同等であると考えられる。

今後、今回の検討内容を基にバグの修正等を含めソフトウェアの改修を行い、平成21年度のソフト導入をすすめたい。

要介護認定一次判定ロジック(樹形図)変更の流れ



今後の予定

- マニュアルの配布(12月ー1月)
- 新認定ソフト配布(1月中旬)
- 平成21年3月で有効期間が満了する者の更新申請の受付開始(有効期間満了日の60日前から)
- 平成21年4月全面施行